

森林インストラクターの森活動：間伐、除伐

期日：2022年4月10日

参加者：池田、近江、田崎、藤井、星野、森永、横山、鈴木、芳野（計9名）

報告者：鈴木翔貴

当日は初夏を思わせるような暑い日でした。森林インストラクターの森に向かう前に、皆でミツバツツジを見に寄り道をしました。沿道やお庭にたくさんのミツバツツジが濃いピンク色の花を咲かせていました。

前回3/27に森林インストラクターの森に来た際は、木々の新芽は閉じており、森全体が閑散とした印象でした。しかし、今回は新芽が開き、森全体が柔らかな緑で染まりつつありました。ウッドデッキ近くのカツラの木は丸みを帯びた小さな可愛らしい葉を付けていました。

下草はあまり生えていなかったため、間伐、除伐を行いました。広葉樹班と針葉樹班の2グループに分かれました。私は針葉樹班となり、はじめての除伐を体験しました。小さなノコギリをお借りし、手作業で切りました。木を切る際は、木を倒したい方向に受け口を作り、受け口の最大幅の約2/3の高さから追い口を入れ始め、受け口に達する手前で切断を止め、ツルを残すことを教わりました。

シイタケの収穫も行いました。2018年3月に駒打ちしたヒノキからもシイタケが出ました。ヒノキからシイタケが出るのは珍しいとのことでした。大小様々な大きさのシイタケを皆で山分けしました。家で焼き、醤油をかけて頂きました。身がプリプリでとても美味しかったです。原木栽培のシイタケを食べる機会は少ないので、頂けて嬉しかったです。

活動後はときがわ町の高柳屋さんに寄り、新緑の山を見ながらオープンテラスでうどんを頂きました。噛み応えがあり、こちらもとても美味しかったです。

